



多田城は室町時代、当時「東山内衆」と呼ばれる当地の在地武士団の有力者である多田氏が築城したと伝えられています。伝承によると、摂津国多田庄の源満仲の子孫にあたる多田経実が鎌倉時代に荘園の庄官としてこの地に移り住み、後に武士となったといわれています。

地域では、有形民俗文化財の染田天神講連歌堂や多田城跡など、歴史文化観光資源として、この地が多田源氏の歴史深い地であるということをPRされており、郷土の歴史継承活動に努められています。

- ▼ 多田城入口にある満寿寺やそのとりにあるサルスペリの木は、地域の方々や観光客からも愛されています。初夏から秋まで、人々の心を癒す、鮮やかな紅色の花がおススメです。
- ▶ 満寿寺の境内から続く参道を上ると城跡へ辿り着きます。そこには、七面堂が建てられています。
- 地域では「大和多田源氏の郷の継承の会」を結成。平成30年度宇陀市観光施設整備事業費補助金を受けて、歴史遺産案内看板を設置されるなど、地域の環境整備も進められています。



## 今日の Pick Up Let's Challenge!



### 駅伝チャレンジ大会

11月16日に心の森総合福祉公園で、市内小学校5～6年生を対象に駅伝大会を開催。この大会は、駅伝を通して子どもたちの心身と体力の向上、人間形成を目的に毎年開催しています。今回は過去最多の12チームが出場し、TEAM TOP SPEED (榛原東小) が連覇しました。

チーム一丸となって一生懸命ゴールを目指す選手それぞれのひたむきな姿が、大切なことを教えてくれました！皆さんお疲れさまでした！

### English Village

11月23日に総合体育館で、市内小学校3～6年生を対象にEnglish Villageを開催。参加した33人の児童は、アメリカ、イギリス、ガーナなど6か国のALT (英語指導助手) と一緒にパスポートを作り、入国審査を受けワールドツアーに出発！ゲームなどを通じて、英語でコミュニケーション！楽しい時間を過ごしました。

この取り組みは、異なる文化を持つ人々との交流や外国語を身近に感じてもらうことを目的に毎年開催しています。これから、ますます進むグローバル化。今後もこういった機会に、積極的にご参加ください！

